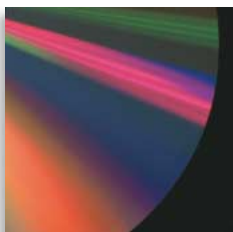


第13期 中間事業報告書

平成16年4月1日から平成16年9月30日 まで



株主のみなさまへ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社の第13期上半期（平成16年4月1日から平成16年9月30日まで）が終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、企業収益の改善に支えられて設備投資が拡大し、また、個人消費も底堅く推移する等、景気は回復傾向を強めました。

当業界におきましてもデジタル家電関連の設備投資拡大等を背景に、概ね好調に推移いたしました。

このような状況下で当社は、本年5月13、14の両日加賀本社工場においてプライベートショー「Sodick Plustech Fair 2004」を開催、新機種EH2シリーズ型7機種、VREシリーズ型1機種の射出成形機及び周辺機器の新製品アウトガス除去システム「クリアメルトシステム」ならびに横走行小型取出しロボットを発表し、それぞれ販売を開始する等、技術的優位性の高い当社製品の販売活動に注力してまいりました。

この結果、当中間期の売上高は、64億53百万円（前年同期比59.8%増）となりました。

- ・射出成形機関連部門では、自動車関連やデジタル家電関連業界等からの活発な需要が続きました結果、売上高は、46億7百万円（前年同期比35.4%増）となりました。
- ・特機関連部門では、液晶の検査及び製造装置用の精密XYステージの販売が好調に推移しました結果、売上高は、18億46百万円（前年同期比189.6%増）となりました。

一方、利益面では、一層のコストダウンに努めました結果、経常利益は417百万円（前年同期比104.4%増）、中間純利益は218百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

なお、中間配当金は、1株につき2,500円とさせていただきます。

つぎに今後の見通しを申し上げますと、景気は回復基調に転じているものの、中国経済の減速懸念やイラク情勢、原油の高騰等、先行き不透明感も強く、当面は予断を許さない状況が続くものと思われまます。

こうした情勢を踏まえ、当社といたしましては、引き続き、品質・コスト両面にわたる強化に努め、いかなる事業環境下におきましても安定した成長を続けることのできる、より強固な経営基盤の構築に全力をあげて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年12月

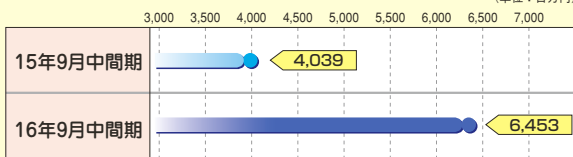


代表取締役社長
藤川 操

中間財務ハイライト

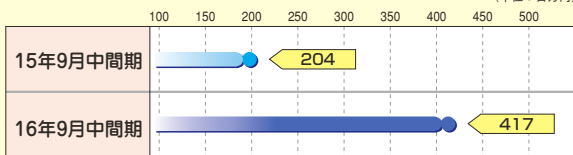
■ 売上高

(単位：百万円)



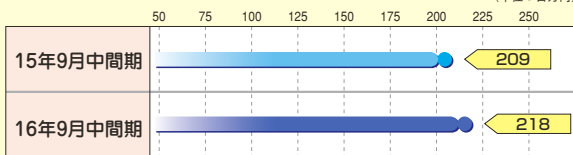
■ 経常利益

(単位：百万円)



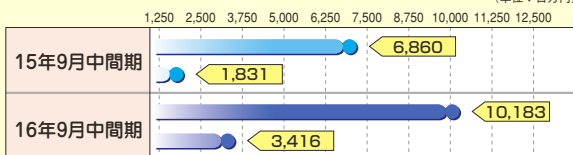
■ 中間純利益

(単位：百万円)



■ 総資産 及び 純資産

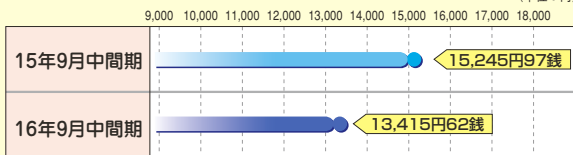
(単位：百万円)



(上段：総資産、下段：純資産)

■ 1株当たり中間純利益

(単位：円)



(期中平均株式数 15年9月中間期 13,773株
16年9月中間期 16,296株)

中間貸借対照表

(平成16年9月30日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部	10,183	負債の部	6,766
流動資産	7,151	流動負債	5,477
現金及び預金	985	支払手形	3,355
受取手形	1,080	買掛金	1,246
売掛金	3,188	一年以内返済予定の 長期借入金	303
たな卸資産	1,660	未払金	236
関係会社短期貸付金	29	未払法人税等	192
繰延税金資産	79	その他	143
その他	127		
貸倒引当金	△ 0	固定負債	1,289
固定資産	3,031	社 債	220
有形固定資産	2,787	長期借入金	657
建物	1,035	退職給付引当金	59
構築物	23	役員退職慰労引当金	53
機械装置	557	その他	300
土地	1,123		
その他	47	資本の部	3,416
無形固定資産	3	資本金	2,171
投資その他の資産	241	資本剰余金	596
投資有価証券	14	利益剰余金	649
破産債権等	23	(うち中間純利益)	(218)
繰延税金資産	68	その他有価証券評価差額金	△ 0
その他	158		
貸倒引当金	△ 23		
合 計	10,183	合 計	10,183

中間損益計算書

(平成16年4月1日から
平成16年9月30日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額	
(経 常 損 益 の 部)		
営業損益の部		
営業収益		
売上高		6,453
営業費用		
売上原価	5,194	
販売費及び一般管理費	851	6,045
営業利益		407
営業外損益の部		
営業外収益		38
営業外費用		28
經常利益		417
(特 別 損 益 の 部)		
特別利益		—
特別損失		28
税引前中間純利益		388
法人税、住民税及び事業税	183	
法人税等調整額	△ 12	170
中間純利益		218
前期繰越利益		425
中間未処分利益		643

中間キャッシュ・フロー計算書

(平成16年4月1日から
平成16年9月30日まで)

(単位：百万円)

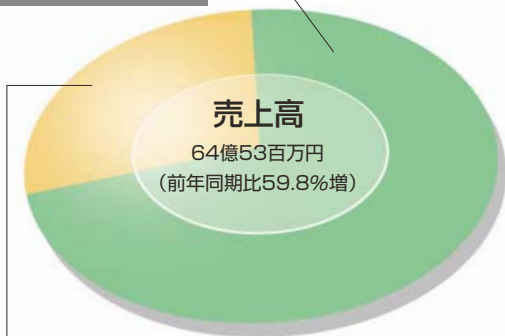
科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 247
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 679
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 39
現金及び現金同等物の増加額	△ 893
現金及び現金同等物の期首残高	1,878
現金及び現金同等物の中間期末残高	985

事業部門別売上構成比



射出成形機関連部門
46億7百万円(前年同期比35.4%増)

71.4%



特機関連部門
18億46百万円(前年同期比189.6%増)
28.6%



会社の概要

(平成16年9月30日現在)

商号	株式会社ソディックプラステック
設立	平成4年7月29日
資本金	21億71,045千円
主な事業内容	射出成形機及びその他周辺機器の開発・製造・販売 並びに精密ステージの販売
従業員数	163名（子会社等への出向者を含みます）
事業所	
横浜本社	〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-7-20 NKY新横浜ビル6階
加賀本社	〒922-0595 石川県加賀市宮町カ1-1
営業所	仙台、大宮、横浜、松本、名古屋、大阪、北陸



加賀本社工場

取締役及び監査役

(平成16年9月30日現在)

代表取締役会長	関 陽 一
代表取締役社長	藤 川 操
取締役副社長	小 川 恒 一
専務取締役	藤 倉 進 司
常務取締役	伊 藤 義 則
常務取締役	井 上 幸 彦
常勤監査役	宮 地 嘉 寿 夫
監査役	廣 崎 厚 生
監査役	山 本 孝 志
監査役	森 道 嗣

(注) 監査役宮地嘉寿夫、山本孝志及び森道嗣は、商法特例法第18条第1項に定める社外監査役であります。

株主メモ

決算期日 毎年3月31日

基準日 毎年3月31日

その他必要ある場合は、予め公告する一定の日

定時株主総会 毎年6月

公告掲載新聞 日本経済新聞

【当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ〈<http://www.plustech.co.jp/kessan/index.html>〉に掲載致しております。】

名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
郵便番号100-0005

UFJ信託銀行株式会社

名義書換事務取扱所 東京都江東区東砂七丁目10番11号
郵便番号137-8081

UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 東京 (03) 5683-5111 (代)

同取次所 UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

株式の事務手続き（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、名義書換請求書等）書類のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-24-4479（本店証券代行部）
0120-68-4479（大阪支店証券代行部） }（通話料無料）

<http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



株式会社 ソディック プラステック

横浜市港北区新横浜二丁目7番地20

郵便番号 222-0033

☎ (045) 478-1880（代表）

<http://www.plustech.co.jp>